

アムスルだより

No.50 2001年 7月10日

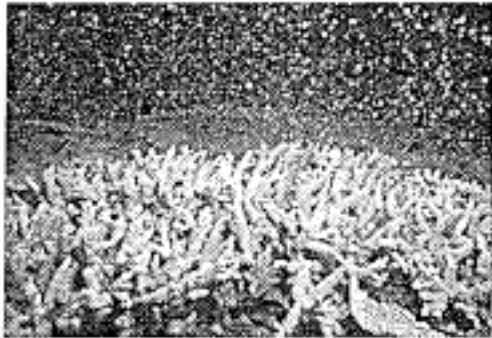
Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所



〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。http://www.amsl.or.jp

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@ryukyu.ne.jp



今年のサンゴの産卵異常あり？

さて、今年も阿嘉島の海ではつぎつぎとサンゴが産卵しています。アムスルでは、10年間以上にわたってサンゴの産卵調査を続けています。その結果、阿嘉島周辺のミドリイシサンゴは、どうやら満月の3日前から7日後のおよそ10日間のうちに産卵することがわかってきました。しかし、いまだに「今年は何月何日に産む」と予想することはむずかしく、世界中の誰も成功していません。前回のアムスルだより(No.49)で、今年のミドリイシの産卵は「6月の満月の頃になる」と書きましたが、実際はどうだったのでしょうか。今回は、今年の6~7月にかけてのサンゴの産卵についてくわしくお話ししましょう。

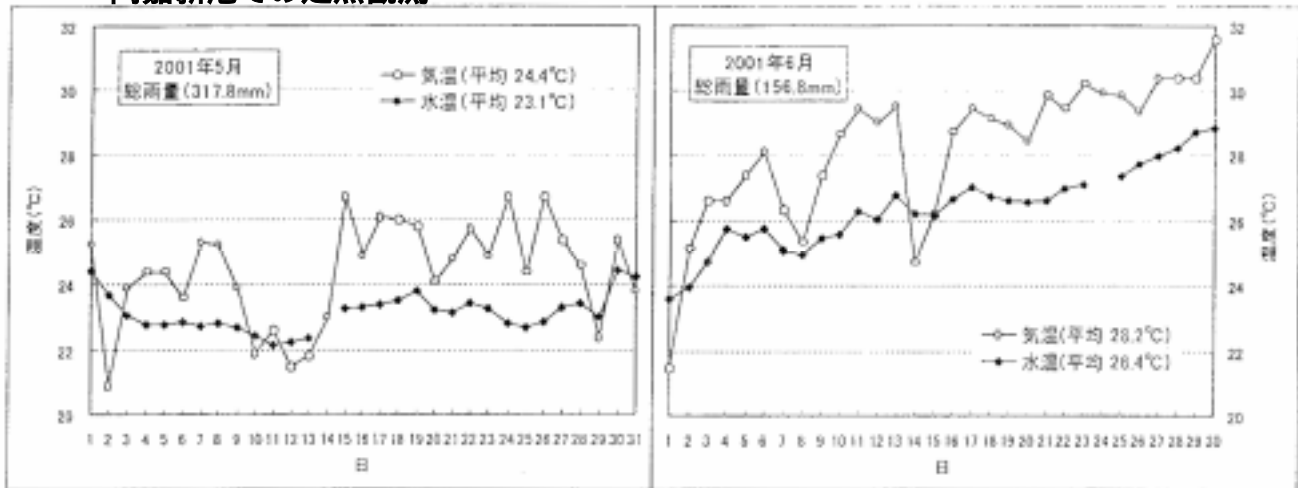
アムスルの産卵調査と阿嘉島、座間味島の皆さんの産卵情報を整理してみたところ、今年の6月は、満月の1日前(6月5日)にヒズシとマエノハマで、満月の夜

(6日)にクシバル、ニシハマ、マジヤノハマ、^{あげなしく}安慶名敷島で、満月の1日後(7日)に、マジヤノハマと、座間味島の新田浜で少し、満月の2日後(8日)に安室島と、新田浜で本格的に産卵しました。こうして、大半のミドリイシが、6月中に産卵しました。

ここで、「大半のミドリイシが」と書きましたが、実はいつもの年には6月に産卵してしまうクシハダミドリイシやコユビミドリイシの中に、この時には産卵せず、体の中に卵を持ったままの群体がいくつか残っていたのです。私たちは、「めずらしいこともあるものだな」と思い、7月の満月前後に産卵するのだろうと考えていました。

ところが、6月28日の朝、「スリックができてるよ」と、ダイビングショップの人たちが、スリックの一部を持ってきました。スリックというのは、たくさんのサンゴの卵が潮目に集まってできるものです。ですから、前日27日の夜に何かのサンゴがまとまって産卵したということです。^{けんびきょう}顕微鏡で見てみたら、確かに卵があり、その大きさや色から判断すると、どうやらミドリイシの卵のようです。しかし、6月27日は、新月の6日後、7月

阿嘉新港での定点観測



の満月の9日前に当たります。ここ1、2年の調査で、新月前後に産卵するミドリイシもいくつかいることがわかっていたのですが、種類は少なく、スリックができるほどたくさんの卵を産むとは思えません。「ひょっとしたら」と思い、海の中でまだ卵が残っているクシハダミドリイシやコユビミドリイシ、そしてオヤユビミドリイシを探し出し、28日の夜に観察したところ、それらがその夜、一斉に産卵したのです。結局、27日に産卵したサンゴの種類は、わからずじまいでしたが、いつもは満月前後に産むサンゴでも、それ以外の期間に産むこともあることが今年初めて分かりました。

このような今年の異常(?)な産卵で、ますます産卵日の予想は難しくなりましたが、ある夜に一斉に産卵するサンゴは、そのタイミングを合わせるための仕組みをもっているに違いありません。なんとかその仕組みを解き明かしたいものです。

最後になりましたが、産卵やスリックの情報をいただいた多くの皆さん、本当にありがとうございました。7、8月もほかの種類サンゴが卵を産みます(7月7、8日に、マジノハマでコモンサンゴが産卵しました)。8月に産卵するミドリイシ

もいますので、これからも情報をよろしくお願いします。

阿嘉島の海より

-おかげさまで50号を迎えました-

上のグラフのとおり、6月から気温はどんどん上がり、寝苦しい毎日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしですか？

さて、アムルスだよりは1993年5月に創刊号を発行して以来、2ヶ月に1号のペースで、阿嘉島の海にすんでいる生き物や、阿嘉島の気温・水温の変化や、研究所の活動内容などを紹介してきました。そして、今回で、ついに50号を迎えることができました。この約8年間、阿嘉島の皆さんをはじめ、座間味村の皆さんのご協力や励ましのおかげで、ここまで号を重ねることができました。本当にありがとうございました。阿嘉島の海にはまだまだいろんな生き物がたくさんすんでいます。これからも皆さんからの「この生き物ってなあに？」とか、「港に不思議な生き物がいる」とか、「この生き物について知りたい」という質問や情報をお待ちしております。そして、これからも皆さんにとって親しみやすく、わかりやすい阿嘉島の海からのお便りをお届けしたいと思います。